



夕方の5～7(ゴーナナ)は“魔の時間”
～歩行者は反射材等を着用
ドライバーは早めのライトオン～

交通事故防止のPOINT

1月号

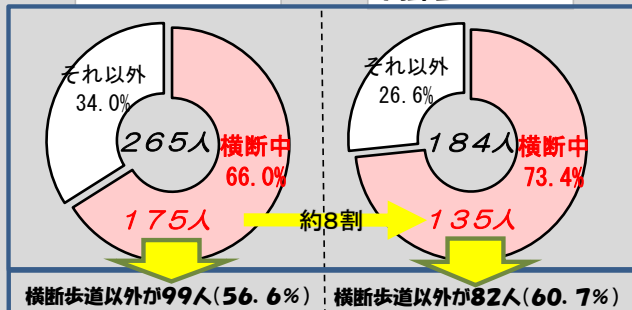


道路横断中の交通事故防止～高齢者の方と横断実験をしました～

【歩行者死者の特徴】 ※令和元年～令和5年に愛知県内で発生した事故をもとに作成

全年齢では…

高齢者では…



半数以上が道路を「横断中」!

横断中の約8割が高齢者!

横断中の半数以上が横断歩道以外の場所を横断!



歩行者死者の傾向を踏まえ、「高齢者の道路横断に関する意識調査」と「一般成人と高齢者の道路横断実験」を行いました。

※意識調査：横断歩道を利用せずに道路を横断又は横断しようとした65歳以上の高齢者620人にアンケート調査したもの
※横断実験：成人5人(平均41.8歳)と高齢者5人(平均82.2歳)の歩行速度を比較するなどして検証したもの

意識調査の結果

7割以上の方が道路の横断に危険を感じていませんでした!

注意すればよい
いつも横断している
車が止まってくれる

実験結果

一般成人に比べ高齢者の通常横断時間は約1.5倍かかりました!

しかしながら

※幅15mの道路横断時間

	一般成人		高齢者
通常横断	7.85秒	1.5倍	11.75秒
速足横断	4.54秒	1.4倍	6.35秒
斜め横断	10.83秒	1.3倍	14.7秒

道路を安全に横断するには?



①横断歩道を利用しましょう!

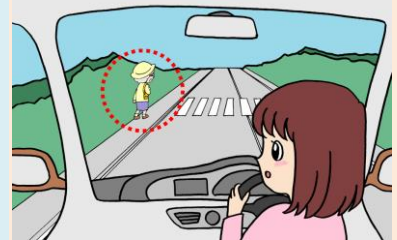
横断歩道は、ドライバー側に「歩行者がいるかも?」という意識が働きやすい場所です。

少し遠回りになっても、横断歩道を利用することで、ドライバーから気が付いてもらいやすくなります。

②横断途中でも2度目の安全確認をしましょう!

道路を渡る前に安全を確認、そして横断途中でも2度目の安全確認を行きましょう。

油断大敵!



まだまだ夕暮れ時が早い季節です。反射材、LEDバンド等の活用を忘れずに!



◆1月の日没時刻は、午後4時51分(1日)から午後5時19分(31日)です。